

東京2020大会をきっかけに 築き上げた独自の取り組みの数々は、 未来へ引き継ぐべきレガシー

東京2020大会をきっかけに、将来必須となるユニバーサルデザインやインクルーシブといった価値観をグループ企業内に根付かせようと活動。パラスポーツ大会の観戦活動は、社員の家族を巻き込むことや、社内に在籍しているパラアスリートと、社員が共に支え合う取り組みを実施している。



NTT（日本電信電話株式会社）



企業情報

日本電信電話株式会社

【担当部署】新ビジネス推進室2020
渉外担当
【住所】東京都千代田区大手町1-5-1
大手町FSイーストタワー
【電話】03-6838-5111(代表)
【URL】<https://group.ntt.jp/magazine/>



NTTクラリティ株式会社

【担当部署】営業部2020推進PT
【住所】東京都武蔵野市緑町3-9-11
【電話】0422-50-8347(営業部)
【URL】<https://www.ntt-claruty.co.jp>



グループ社内で働くパラアスリートと 一緒になって

同社は、グループ横断での応援に加え、パラアスリートと一緒に取り組む取り組みも展開している。観戦応援だけでなく、アスリートによるグループ社員向けの「心のバリアフリー研修」も実施している。障がい当事者から直接研修を受けることで、考え方が大きく変わることもあるようである。

2018年には、「パラスポーツ応援キックオフ」を開催し、グループ企業全体に、社員アスリートを紹介するイベントを行った。



社員とご家族の皆さん

働きながら、練習を重ねている「5人制サッカー」の田中章仁氏(NTTクラリティ株式会社営業部アクセシビリティ推進室兼2020推進PT 担当課長代理)は、こう語る。



田中選手(5人制サッカー)

「僕自身、ほかのグループ企業に所属しているパラアスリートの存在を知ることができて励みになっています。また、選手は声援が大きいほど力が湧くものなので、グループ全体として応援していただけることをうれしく思います。パラアスリートの活躍を知ること、将来への希望を感じる方もいらっしゃると思いますし、次世代のパラアスリートの育成にもつながります。」

築き上げてきた仕組みをレガシーとして 残すために

「NTTはパラスポーツの応援や心のバリアフリー研修などを通じ、グループ間の横の連携、特に個人レベルにまで落とし込まれた連携が、確実に強まっていると感じています。これは私たちがオリンピック・パラリンピックを通じて築いてきた、2020年以降もNTTグループのレガシーとして継続していきます。」(吉川部長)

また、パラスポーツ支援の機運醸成は、企業の垣根を越えて行ってこそ意味があると、吉川部長と永谷主査は語る。「パラスポーツを盛り上げる方法が分からない企業様ほど、TEAM BEYONDに参加するのいいと思います。すでにパラスポーツ支援に取り組んでいる企業のご担当者から、直接、その活動方法や効果が聞けますし、大会観戦にも気軽に参加できます。一度、経験すれば、パラスポーツに触れる価値を体感できるはず。これから必須となるユニバーサルデザインやインクルーシブという新しい価値観を社内に植え付けたいと考えている企業にとって、素晴らしいプラットフォームだと思います。」(吉川部長)



応援に駆け付けた社員とご家族の皆さん

※企業情報・役職については、2019年5月時点のものです。

今後の取組について

これまで取り組んだ「心のバリアフリー研修」は、パラアスリートや障がい当事者が講師となり社員や地域の学校に実施してまいりました。「パラスポーツ観戦応援」もリモート環境を活用しつつ新たなチャレンジを行っております。引き続きグループ間連携や、他企業・他団体との連携を通じて、拡大・成長させて参ります。

選ばれ続ける企業になるために不可欠な 感覚をパラスポーツを通じて養う

企業としての成長と、自社のICT活用で社会の発展を目指す同社。



永谷主査

「インクルーシブ社会でパートナーとして選ばれ続ける企業となるために必要なことが、パラスポーツやパラアスリートに触れることで分かるようになると思います。」(新ビジネス推進室2020渉外担当永谷主査)



吉川部長

そのために取り組んでいることのひとつが、パラスポーツ観戦である。大会は土日開催が多いことから、子どもや家族との参加を促す「キッズプログラム」を実施。試合後に行う、パラアスリートへの質問コーナー「キッズインタビュー」などもあり、好評である。「この取り組みは、社員に対しても、次世代の子どもたちを育てる意味でも意義のあるプログラムだと思うし、さらに活動を活性化させたいと思います。」(新ビジネス推進室2020渉外担当吉川勲部長)